

林健太郎 はやしけんたろう 西洋史學者。大正二年一月一日神奈川県生れ、平成十六年八月十日歿（一九二一—二〇〇四）。筆名平川省二、梶光之介、牟田口亘、翠川進、足立謙、S.H.、K.H.。昭和十年東京帝國大學文學部西洋史料卒。第一高等學校教授を経て、二十九年東大教授、四十八年總長。初の進歩派に屬すと、三十年代に入り保守派に轉じた。五十八年參議院議員。

譯著書、ドーナー編 『大獨逸國展覽』

『會目錄』（小池新）共譯、昭和十二

年九月五日友枝高彦刊）、『獨逸近

世史研究』（昭和十八年六月二十日

辻藤書店）、『ランケ選集・第四卷

ードイツ・フランス史』（共譯、昭和十八年七月十日三省堂）、『再

建の指標』（合著・東京帝國大學新聞社編、昭和二十一年十月二十日

勤勞學徒援護會「學徒叢書」）、『歴史と現代』（昭和二十二年四月

十日辻藤書店）、『歴史學の方法』（昭和二十二年二月二十日白鳥書

院「二十世紀教室」）、『歴史の流れ』（昭和二十二年五月一日若狹

書房。再刊・二十二年十月十日新潮社「新潮文庫」）、『人間と思想

の歴史』（昭和二十二年九月十五日國友書院）、『市民革命の研究』

（合著、昭和二十二年十一月一日京都・二一書房）、『大學生活』（合

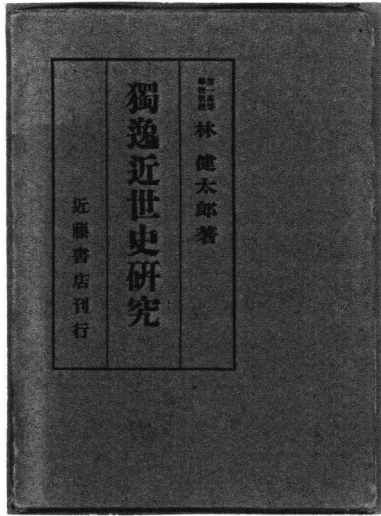
著・天野貞祐編、昭和二十四年五月二十五日光文社）、『世界の歩み』



全二冊（上巻・昭和二十四年九月二十日、下巻・

二十五年五月十日岩波書店「岩波新書」）、G・

D・H・コーネ著『イギリス大労働運動史』全二冊



- (共譯、昭和二十七年一月、二十五日)二十二年八月八日岩波書店「岩波現代叢書」)、
『近代史の諸稿』(昭和二十八年六月五日河出書房)、
『西洋史學大綱』(編、昭和二十九年十月、二十日河出書房)、
『明治への歴史』(昭和二十九年十一月、二十日新潮社)、「一時歴史文庫」、
再刊、二十一年十月五日「新潮叢書」、二刊、二十二年六月、二十五日
「新潮文庫」、
『歴史と人間像』(昭和二十一年四月十五日河出書房「河出新書」)、
『私の卒業論文』(合著・東京大学学生新聞会編、昭和二十一年十一月十五日河出文館)、
『人間はどれだけのことごとく来たか・社会篇』(林孝子共著、昭和二十一年二月二十五日新潮社
「新編・日本少年国民文庫」)、
『流れをとりえろ』(昭和二十二年四月、二十日新潮社)、
『個性の尊重』(昭和二十二年九月、二十日新潮社)、
『西欧と日本』(昭和二十四年二月十五日新潮社)「日本文化研究」)、
『歴史と現実』(昭和二十七年十月、二十日新潮社)、
『世界史と日本』(昭和四十年五月、二十日新潮社)、
『歴史と政治』(昭和四十年八月十五日有信堂)、
『ラッケ伝』(訳、昭和四十一年十月十八日岩波書店「岩波文庫」)、
『共産国東と西』(昭和四十一年四月十五日新潮社)、
『歴史と体験』(昭和四十七年二月、二十日文藝春秋「人と思想」)、
『赤門うちぞと』(昭和五十一年二月、二十日読売新聞社)、
『古曲の愉しみ』(合著、昭和五十八年一月十九日京都・PHP研究所)等。